

X 考 え る 葦

児童の合言葉
○笑顔いっぱい

令和8年9月4日

発行

発行者：高橋 修一

前期後半開始、9月はまとめの時期です

夏休みが終わり、児童が元気に学校に戻ってきました。夏休みは、ご家庭や地域での団らん等、充実した夏休みを過ごせたことと思います。おかげさまで、事件や事故もなく、児童が安全に楽しい夏休みを過ごせたことに、感謝申し上げます。また、保護者の皆様には、個人面談や夏休みの課題提出にご協力いただき、ありがとうございました。

さて、9月は、前期のまとめの時期です。まずは、健康観察や生活習慣の指導を丁寧に行い、児童が安心して学習に取り組めるよう努めてまいります。そして、児童のよさや、各教科の学習で身に付けた力を確認していきたいと思います。前期後半も、ご家庭の温かいご支援とご協力をよろしくお願いいたします。

古山の夏祭り・しもつけかんぴょう祭り・古山のかかし祭り

7月18日(土)に「古山の夏祭り」が、古山小の校庭で行われました。こども神輿体験や縁日コーナー、ビンゴ大会など、楽しい内容が盛りだくさんで、こどもたちの笑顔がたくさん見られました。実行委員会(下古山自治会)や通古山子ども会育成会、学校運営協議会、PTAの皆様、ボランティアで参加してくれた石橋中学校生徒の皆さんや、先生方、ありがとうございました。

7月25日(土)に、第13回しもつけかんぴょう祭りが、グリムの森で行われました。この祭りでジャンボふくペコンテストがあり、今年も古山小の3年生が中庭で育てたかんぴょうを出品しました。3年1組と2組のかんぴょうが、2位、3位を受賞しました。

8月23日(日)には、第18回古山のかかし祭りが星宮神社で行われました。今年は、全学年の児童が書いた願い事の短冊が、神社の参道(階段)に設けられた風車のトンネルに飾られました。

地域や関係機関の皆様、ありがとうございました。



民生委員児童委員・児童委員との懇談会

7月31日(金)に、民生委員児童委員・主任児童委員の皆様との懇談会を行いました。9名の委員の皆様と全教職員で、登下校や地域での児童の様子や、地域の危険箇所や地域の変化、学校への要望等について、有意義な話し合いを行いました。今後も地域の皆様との情報共有や相談に努めていきます。



グループ給食

コロナ禍以降、座席を前向きにした給食の食べ方が続いていましたが、今年度から、毎週水曜日に、グループの隊形になって向かい合っただけの給食(グループ給食)を行っています。9月からは、グループ給食を、週3回(月、水、木)に増やしていきます。グループ給食の時は、「いただきます」から10分間は、「もぐもぐタイム」として、児童が落ち着いて食べる時間を確保しています。



古山小児童の学力・学習状況

4月23日(木)に実施した、「全国学力・学習状況調査」(6年生対象)の結果をお知らせします。なお、5年生の県版学力テストは、今年度から「CBT とちまるチェック」として、スタートチェックや3回の定期チェックを通して、児童の自分の学習状況の確認や、教師の授業改善や児童の学習改善を図るシステムとなりましたので、結果の公表はいたしません。

【記号の見方】全国・栃木県平均正答率（％）との比較

- ◎：大きく上回っている（５ポイント以上） ○：上回っている（１ポイント以上５ポイント未満）
 ー：同じ（±１ポイント未満） ▽：下回っている（１ポイント以上５ポイント未満）
 ▼：大きく下回っている（５ポイント以上）

6年生「全国学力・学習状況調査」の結果

※県平均と全国平均は、ほぼ同じでした。

【概況】

	国 語	算 数	
教科総合	◎	○	・国語は、教科全体、各種別の正答率において、県・全国の平均正答率を大きく上回っています。
知識技能	◎	○	・算数は、教科全体、各種別の正答率において、県・全国の平均正答率を上回っています。
思考判断表現	◎	○	

【領域別】

国 語		算 数		
言葉の特徴や使い方	○	数と計算	○	・国語の「文章全体の構成や展開を考える」、算数の「１辺が8 cm の立方体の体積を求める式を書く」「１立方センチメートルの立方体を36個使ってできた直方体の体積を書く」「赤いテープの長さが、白いテープの長さの1.5倍になっている図を2つ選ぶ」問題に課題が見られました。
情報の扱い方	◎	図形	○	
話すこと・聞くこと	○	測定	○	
書くこと	◎	変化と関係	ー	
読むこと	◎	データの活用	◎	

【質問紙】

・69の質問中、県・全国平均と比較して、望ましい回答が多かった質問が約3割、ほぼ同じ回答だった質問が約3割、望ましい回答が県・全国平均を下回っていた質問が、約4割でした。

・特に望ましい回答が多かった質問は、「自分には、よいところがあると思いますか」「あなたの学級では、人と違う意見を言っても否定されないと思いますか」「総合的な学習の時間では、自分で課題を立てて情報を集め整理して、調べたことを発表するなどの学習活動に取り組んでいますか」「道徳の授業では、自分の考えを深めたり、学級やグループで話し合ったりする活動に取り組んでいますか」「5年生までに受けた授業では、図形や数直線など図が示された問題では、問題を解くときに図が役立つと思いますか」等でした。

・課題が見られた質問は、「自分と違う意見について考えるのは楽しいと思いますか」「分からないことやよく知りたいたいことがあったときに、自分で学び方を考え、工夫することはできていますか」「5年生までに受けた授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいましたか」「5年生までに受けた授業では、各教科などで学んだことを生かしながら、自分の考えをまとめる活動を行っていましたか」「算数の勉強は好きですか」「算数の授業の内容はよくわかりますか」等でした。

夏休み中の職員研修で、「学力向上と CBT とちまるチェック」について、全教職員で検討しました。そして、今後の学習指導についての努力点・取組を定め、進めていきます。取組の概要は、以下の通りです。

1 学力向上に向けて育成を目指す資質・能力（古山小）

「見通しをもって粘り強く課題解決に取り組む力」

（学力調査からの児童の実態）

○学習意欲が高く、ICT活用や自己表現に意欲的に取り組んでいる。

▲困難な課題に直面すると、失敗を恐れて諦めてしまう傾向があり、解決の見通しや粘り強さに課題がある。

2 教師による授業改善

（1）児童自らが課題を設定し、解決に向けて主体的に取組、自分の考えを表現できる授業を実践する。

・解決の見通しを立てさせる指導 ・発問の工夫 ・対話を重視した学習形態 ・ICT や資料を活用した多様な意見を比較・検討させる授業

3 児童の学習改善を促すための教師の支援

（1）単元のまとまりの中で、児童が自ら目標を設定し、学習状況を振り返りながら取り組めるよう支援する。

（2）学習途中では、進捗状況を確認し、小さな達成を認めたり、粘り強く取り組んだ過程を価値付ける。

・失敗を恐れず挑戦し、互いのよさを認め合える安心感のある学級づくりの推進

・教師と児童で学習計画を立て、単元を通して身に付ける力の共通理解を図る。